2024-063

研究課題名	骨軟部感染症及び重度四肢外傷に対する (持続的局所抗菌灌流) CLAP療法の効果
実施責任者	所属・職名：整形外科・手外科 部長
	氏名： 熊谷 寛明
研究の概要	骨折手術後の感染インプラントを抜去せざるを得ない事が多いが、CLAP療法はインプラントを温存したまま感染治療が出来る可能性があるため、骨折後のADL改善の一助となりえる。
対象となる個人情報	年齢、身長、体重、性別、既往歴、生活歴、職歴、 利き手、受傷形態、手術前後画像、レントゲン、手術法、 抗菌剤選択、治療経過
実施の期間	西暦 2018年 1月 1日より
	西暦 2030年 3月 31日まで
研究対象	2018年1月1日～2030年3月31日に感染を 合併した患者様